

平成30年度 杉並区教育調査集計結果 肯定率(下段は29年度)

観点	質問内容(保護者)	1年	2年	3年	観点	質問内容(生徒)	1年	2年	3年	観点	質問内容	教員
学校経営	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	<b>88.3%</b>	<b>76.2%</b>	<b>83.1%</b>						カリキュラム・マネジメント	カリキュラム・マネジメントの視点に立って、教科間のつながりを踏まえた教育活動に取り組むとともに、計画的な評価・改善を行っている。	<b>53.3%</b>
		75.3%	82.0%	91.1%							76.5%	
小中一貫教育(実施状況)	連携する小・中学校による小中一貫教育(小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等)が進められている。	<b>66.2%</b>	<b>58.7%</b>	<b>62.0%</b>						小中一貫した学習指導計画	各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画を作成している。	<b>68.8%</b>
		55.6%	60.7%	75.9%							64.7%	
学校評価	学校は、自校の教育活動に対する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	<b>63.6%</b>	<b>41.3%</b>	<b>51.4%</b>						学校評価	学校の教育目標や目指す生徒像、特色ある教育活動や教育課程等について、学校評議会や学校運営協議会、学校関係者評価委員会で協議している。	<b>66.7%</b>
		43.2%	49.4%	59.5%							70.6%	
学級経営	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	<b>88.3%</b>	<b>65.1%</b>	<b>84.5%</b>	学級経営	先生は、クラスのみなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	<b>97.5%</b>	<b>80.7%</b>	<b>82.7%</b>			
		61.7%	76.4%	86.1%			74.4%	88.7%	93.2%			
					個に応じた指導	授業では、自分の得意な部分を伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、先生が個別に教えてくれている。	<b>54.3%</b>	<b>30.3%</b>	<b>53.8%</b>	個に応じた指導	学び残しやつまづきを減らし、すべての生徒の学力を向上させるための授業を行っている。	<b>75.0%</b>
							28.9%	60.8%	64.8%			76.5%
学習の成果	子どもは、学校の授業を通して、分かることやできることが増えている。	<b>74.0%</b>	<b>61.9%</b>	<b>58.6%</b>	学習の成果	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	<b>87.7%</b>	<b>74.2%</b>	<b>82.7%</b>	主体的・対話的で深い学び	授業では、一斉授業、子どもたち主体の個別学習と協働学習を組み合わせている。	<b>81.3%</b>
		60.5%	68.5%	79.7%			82.2%	87.6%	88.6%			88.2%
学習評価	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	<b>75.3%</b>	<b>63.5%</b>	<b>58.6%</b>	学習指導	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	<b>76.5%</b>	<b>61.8%</b>	<b>65.4%</b>	小・中学校の協力的指導	連携する小・中学校の教員が協力し合って各教科等の学習指導に取り組んでいる。	<b>31.3%</b>
		53.1%	58.4%	63.3%			56.7%	69.1%	78.4%			58.8%
教材教具(ICT)	学校は、ICT機器(電子黒板やデジタル教科書等)を活用した授業を行っている。	<b>62.3%</b>	<b>46.8%</b>	<b>57.1%</b>	教材教具(ICT)	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。。	<b>98.8%</b>	<b>96.6%</b>	<b>98.1%</b>	教材教具(ICT)	各教科等において、ICT機器を活用した授業を行っている。	<b>87.5%</b>
		43.2%	60.7%	55.7%			95.6%	93.8%	93.2%			88.2%
					系統的・連続的指導	先生たちは、今授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	<b>87.7%</b>	<b>66.3%</b>	<b>72.8%</b>	系統的・連続的指導	学習指導要領に基づく各教科等の目標や内容の系統性を理解し、学年や小・中学校の接続を踏まえた授業を行っている。	<b>81.3%</b>
							61.1%	67.0%	69.3%			82.4%
道徳教育	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	<b>81.8%</b>	<b>71.4%</b>	<b>84.5%</b>	道徳教育	道徳の授業では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	<b>90.1%</b>	<b>70.8%</b>	<b>76.0%</b>	合理的配慮の提供	生徒や保護者から障害等への合理的配慮が求められた場合、校内委員会で検討し、実施に努めている。	<b>87.5%</b>
		67.9%	76.4%	84.8%			63.3%	71.1%	65.9%			94.1%
体育・健康教育	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	<b>84.4%</b>	<b>74.6%</b>	<b>81.7%</b>	体育・健康教育	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	<b>81.5%</b>	<b>68.5%</b>	<b>81.7%</b>	校内委員会・個別教育支援計画	特別な支援が必要な生徒に対して、校内委員会で検討し、個別の教育支援計画を作成している。	<b>93.8%</b>
		72.8%	73.0%	87.3%			55.6%	70.1%	75.0%			94.1%
特別支援教育(理解・啓発)	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	<b>62.3%</b>	<b>44.4%</b>	<b>57.0%</b>						個別指導計画	特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画に基づく個別指導計画を作成・実施している。	<b>81.3%</b>
		44.4%	56.2%	57.0%								88.2%
地域と共に在る学校	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている、	<b>79.2%</b>	<b>69.8%</b>	<b>73.2%</b>	地域と共に在る学校	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校生活をよりよくしてくれている。	<b>64.2%</b>	<b>41.6%</b>	<b>60.6%</b>	地域と共に在る学校	授業や教育活動において、地域の人材を計画的に活用している。	<b>81.3%</b>
		58.0%	59.6%	79.7%			41.1%	55.7%	54.5%			88.2%

下線は、前年度学年次より肯定率が増えたことを表す。